

今を生きる町民と未来を生きる町民が 幸せに暮らすことができるまちづくりに取り組みます。

施政方針 要旨

昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から社会生活や経済活動に様々な制約を受ける中であり、東京オリンピック・パラリンピックの開催や本町が聖火リレーの経由地となったこと、そして何より宿願でありました松島海岸駅のバリアフリー化新駅舎の供用が開始されたことは明るい話題として記憶に新しいところであります。

さて、地方自治におきましては、令和2年初頭からの約2年もの間、新型コロナウイルス感染症への危機管理対応を最優先とし、特に昨年はワクチン接種の推進に傾注してきました。ワクチン接種を推進してきたことで昨年後半は、全国的に感染者は減少し、感染状況は落ち着きを見せました。

しかしながら、今また感染力が極めて高い新たな変異株の脅威に直面していることから、3回目ワクチン接種の早急かつ円滑な推進等による感染拡大防止に最大限の注意を払いつつ、令和3年11月19日に閣議決定されました「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」について、国・宮城県の対策と連動し、町民の暮らしや町内事業者の社会経済活動を支えてまいりますとともに、コロナ克服後におきましても百年先に続く未来を切り拓いていく、町はその先導役の一員として全力を注いでまいります。

いでまいります。

次に、町の重点戦略のひとつに位置づけております「子育て」につきましても園の建設工事がいよいよ着手されました。町といたしまして、松島町で子どもを産み、安心して子育てできる環境づくりを行うことを目的とし、認定こども園の整備に關しまして町の重点プロジェクトと位置づけ、町民の期待の高まりにこたえるべく、これまでと同様に松島町社会福祉協議会と協働し事業を推進してまいります。

令和2年10月に「国勢調査」が実施され、昨年11月に確定値が公表されました。

その結果、宮城県全体の人口は、230万1,996人と平成27年調査と比較すると3万1,903人、率にして1.37%の減少となりました。調査開始以来最も高い減少率となりました。また、65歳以上の人口は8.63%増加となり、宮城県の総人口に占める割合は25.7%から28.3%に上昇し、宮城県総人口の4分の1以上が高齢者という状況となっております。

本町の人口につきましては、1万3,323人と平成27年調査と比較すると1,098人、率にして7.61%の減少となりました。宮城県内で5番目に減少率の高い市町村という結果になりました。

以前にも増して人口減少が加速しており、地方交付税等の減額が見込まれる

るなど、厳しい財政運営が想定される

す。そうした中で、本町が過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に基づき、令和4年4月1日から過疎地域として指定される見込みとなりました。過疎地域につきましては、指定を受けた市町村は過疎地域持続的発展市町村計画を策定することで、国の財政支援や様々な政策的優遇措置が活用できることとなります。本町におきましても、地域が持続的に発展する計画を策定し財源の確保に努めてまいります。

コロナ禍により地方での暮らしが見直されている今こそ、豊かな自然や暮らしやすさなど松島の良さを生かしたまちづくりを積極的に進め、少子・超高齢化社会におきましても今を生きる町民と、未来を生きる町民が豊かで幸せに暮らせる「まち」の実現に、これまで以上に取り組んでまいります。

このような中、国においてデジタル庁が令和3年9月に創設され、自治体DX（デジタル・トランスフォーメーション）推進計画の取組が急ピッチで進められているように、最先端の情報科学技術や新たな社会システムを取り入れた利便性、満足度の高い生活を実現しようという潮流は、コロナ禍を契機として確実に強まっております。社会情勢の変化を鋭敏に感じ取り想像力を働かせながら、スピード感をもって事業・業務手法を革新していく姿勢が求められていることから、本町におき

ましても、昨年12月に立ち上げた「松島町デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進本部」において、本町のデジタル化に取り組む推進基本方針を策定してまいります。

今後、国の動向及び当基本方針に沿って、町民の利便性の向上、効率の追求、データの資源化と最大活用、安全・安心を前提とした、人によさしいデジタル化を全庁的に推進してまいります。

また、近年の頻発・激甚化する豪雨や、発生が予想される日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震等の自然災害に備え、関係機関と連携した総合防災訓練を実施いたします。そのほかに、各地区における感染症対策を踏まえた避難所開設訓練などを通じ、自主防災組織活動を支援するとともに、町民の防災意識の向上に取り組み、町民の生命・身体・財産を守るため、防災対策を強化してまいります。

最後に、令和4年度における本町の財政の見通しであります。新型コロナウイルス感染症対策に係る経費の増加や、少子高齢化に伴う社会保障費の増加、施設の維持管理や改修等に伴う義務的経費、経常経費が増加傾向にあることに加え、認定こども園の建設が本格化することや長寿寿命化関係事業など複数年にわたる大規模事業の実施等に伴い、令和4年度も多くの予算の投入が見込まれることから、依然として大変厳しい財政状況にあります。

※各写真はイメージです。

そのため、新たな財源確保として、本町が取り組む魅力ある地方を創生するために作成した地域再生計画に基づく事業について、社会貢献意欲のある企業から寄附を募る「企業版ふるさと納税」を活用し、新しい時代の「松島のかたち」とする財源の一端を担うよう広く募集を行うとともに、施設利用料の見直しにつきましても、令和5年4月からの見直しに向けて引き続き取り組んでまいります。

このような状況の下、令和4年度の予算規模は、前年度と比較して、一般会計は9.3%の増、下水道事業特別会計は1.0%の減、その他の特別会計は3.5%の増、水道事業会計は28.9%の増で編成しております。

将来世代に負担を先送りしないためにも、長期的なウィズコロナ対応、終息後のポストコロナをしっかりと見据え、必要な投資を厳選しつつ、効率的かつ効果的な行財政運営を今後も徹底し、町民の皆さまが将来に希望を持ち、安心して暮らせる松島町の実現に向け、全力を尽くしてまいります。

松島町長

櫻井 公一

令和4年度に実施予定の主な事業・行事をご紹介します

感染症予防・小児がん患者の支援 定期予防接種再接種費用助成

造血幹細胞移植により定期予防接種によって得た免疫が低下した20歳未満の方の定期予防接種を再接種する費用の助成を開始します。

災害時等の情報伝達機能強化 防災行政無線システム更新

防災行政無線システムの更新に併せて、登録制メールやSNSと自動で連動されるように改修します。

利用者の利便性をより高めます 観瀾亭・松島博物館 公衆トイレ設計業務

利用者の利便性をより高め、さらに魅力ある施設とするために、今後建設予定の公衆トイレの設計業務を行います。

相談対応や支援を強化します 子ども家庭総合支援拠点事業



支援を必要とする子どもと、その家庭に対する支援体制の強化を図るため、「子ども家庭総合支援拠点」を設置します。

交通渋滞対策に向けて 松島町交通社会実験



国道45号松島海岸エリアの交通渋滞対策に向けて実施される社会実験に参画します。

令和5年4月開園に向けて 認定こども園整備事業



令和5年4月の開園に向け、事業の実施主体である松島町社会福祉協議会と協働で取り組んでいきます。

観光業を盛り上げる 宮城県制150周年キャンペーン



宮城県や町内事業者、近隣自治体等との連携を強化した誘客事業を実施し、コロナ禍で落ち込んだ観光業を盛り上げます。

安心して学ぶことができる場を提供 自主学習・リモート講義でも 利用できるように



石田沢防災センター内テレワークスペースを学生や生徒の自主学習やリモート講義でも利用できるスペースとします。

起業・創業を支援します 起業家・創業者の 活動支援事業



利府松島商工会が実施する創業支援事業として、セミナー開催等への事業費支援や、町独自の創業者支援事業補助金を交付します。